

15NJ第1回県連派遣団長会議参加報告

日 時 : 平成22年1月31日(日)13:00~17:30

場 所 : 東京都台東区立生涯学習センター 301研修室

参加費 : 資料は日本連盟、交通費は各県で負担

参加者 : 各県連派遣団長又は代理 47名 と参席者 7名

日連15NJ実行委員長以下委員 14人;日連事務局 14人

内 容 1. 開会(実行委員長挨拶・事務局長挨拶・実行委員紹介)

2. 準備状況報告

(1)基本実施要領(各県発送済み)説明

(2)進捗状況の説明(県連会議などで説明し現地見済み)

(3)予定申し込み状況(福岡県など具体的報告の無い県がある)

3. 参加確定申し込みについて (平成22年1月29日現在の資料参照)

・参加予定申し込み状況では、最初の予定より2000名以上、本部要員450名の不足

・3月末県連締め切り4月日連報告の確定申し込みで参加スカウトをもっと増やしてほしい。

また15NJ本部奉仕員が非常に少ないので各県で増員してもらいたい。

4. 輸送計画について

・現地会場利用計画図(案)に基づいて、2ルートからの入場でSCの場所により、ルートが異なる。参加隊のバスはSC近くまで行くが、コンテナはSC毎でなく数箇所のコンテナ基地に置く。

5. 県連派遣団本部と要因の生活

・成人生活基地で生活となるが、参加隊の到着報告や大会期間中は参加隊の所属するSCで県連派遣団が到着報告を受け、日連のサービス本部に報告する事となる。

・福岡県連盟は派遣隊が10隊なので、2箇所のSCに分散生活となる。

6. 安全・救護について

・SCには救護部を設けないので、派遣隊で救急の準備をし、県連派遣団本部を通じて15NJ本部救護部に連絡する事になる。

本IP Δ 500名

7. SCについて

・運営は前回までよりスタッフを半数以下にしている自主運営となる。

・文部科学省からの補助金約6千万円がもらえないし、自衛隊の支援も無いし、本部奉仕員の予約が少ないので、9SCが8SCの検討中である。

インフラ関係

・派遣隊の生活は薪を利用したキャンプ生活であるが、私有地の牧草地なので、環境に配慮し、排水やトイレ・シャワーは数箇所となる。2箇所の井戸から各SCへの給水となるので節水。

8. テーマ別プログラムへの参加説明

・SC単位でプログラムへの参加方式となり、場内プログラムと場外プログラムも日程が決められる。

・VS班が参加するプログラムも検討中である。

9. 全体行事の説明と協力依頼

・開会式・JB大集会・閉会式への参加

・各県連旗の参加奉仕とJB大集会でのSCイベント参加

10. 見学について

・事前予約と宿泊も事前予約。現地でのSC見学やキャンプは出来ない。

11. 広報について

・スカウト通信員を派遣隊事前訓練から決定し、活用してほしい。

・各県は県内メディアと連絡し大会の広報活動を実施のこと。

12. 質疑応答

- ・参加隊の篝火は直火禁止。
- ・ランタン等の灯火燃料は後日需品部から連絡。
- ・3月中旬までに大会中の献立や配給メニューを連絡する。
- ・大会中の氷の配給も計画する予定。
- ・25歳以下の準仕者の参加費割引は本部奉仕員だけである。
- ・県連派遣団の展示ブースについては後日連絡する。
- ・SG負担金は今後参加者人数の収入見込みを検討して、連絡する。
- ・大会参加途中の障害保険は「そなえよつねに保険」に加入してもらい、それに対応予定。
- ・次回の第2回派遣団長会議は5月30日静岡で開催の日連総会後に行う。

13. 閉会式（堀江副委員長挨拶）

第15回日本ジャンボリー準備状況について

1. 実行委員会等の開催

実行委員会および13の専門部会を編成し、15NJの準備や具体的な諸計画を検討しております。

- ・実行委員会を8回開催(H20.11.30、H21.1.25、2.21～22、3.22、4.19、6.21、9.13、12.20)
- ・専門部会長会議を2回開催(H21.11.15、H22.1.24)
- ・正副実行委員長会議を4回開催(H21.4.12、6.14、8.30、12.13)

2. 各種会議での会場視察について

- ・第2回県連盟コミッショナー会議(10/17～18)にて、準備状況の説明と会場視察を実施しました。
- ・全国事務局長会議(11/28～29)にて、準備状況の説明と会場視察を実施しました。

3. これまでの日本ジャンボリーと比較した15NJにおける主な変化点

(1) 大会期間が長くなります(8月2日～8日 7日間)

日本連盟教育本部が5泊以上の長期キャンプを推奨していることを踏まえ、併せて23WSJが11日間(会期前後を含めて13日間)で実施されることを念頭に置いて、15NJの会期はこれまでのNJの5日間より2日長い7日間としました(入場日、退場日を含めて8泊9日となります)。これによって、大会期間中のプログラム活動に充てることのできる日数が増え、これまでより充実したゆとりのあるジャンボリー活動が展開できることを期待しています。

(2) 参加スカウトの年齢を小学生から高校生までにします(小学校6年生～高校3年生)

WSJガイドラインでは、参加スカウトの対象年齢は、13歳から17歳となっています。15NJではこれまでのNJと同じように、学年で区切り、上限を高校3年生までとしました。また、我が国のボーイスカウト部門では、小学校6年生を対象としていますので、15NJについては、2級章以上という参加条件を満たしていれば小学生も参加できることとしました。特に小学生については、ジャンボリー活動を存分に楽しむためにも、8泊9日のキャンプ生活に十分耐えうる健康と体力を育み、スカウト技能を習得するのに必要十分なキャンプ経験を積むことを期待しています。

(3) ベンチャースカウトの参加方法が変わります

これまでのNJでは、ベンチャースカウトは派遣隊所属(上級班長、隊付など)とベンチャー奉仕隊の二通りの参加方法がありました。WSJガイドラインではBS年代とVS年代のスカウトは混合で班を編成し派遣隊に所属します。

15NJでは高校生までのベンチャースカウトは原則として派遣隊に所属し、ボーイスカウトとは別に班を編成します。ただし、高校を卒業したベンチャースカウトは、派遣隊の副長補又は大会本部、県連盟派遣団の要員として参加することができます。

(4) 大会本部を中心とした、より簡素かつ効率的な組織にします

WSJガイドラインでは、大会本部を中心に簡素な組織編成となっています。サブキャンプ(SC)の機能も極力簡素化され、少人数のSC要員を中心に、派遣隊指導者が協力してSCを運営する組織形態となります。

15NJでは、これまでのNJの組織編成を踏襲しつつ、SCの運営を大会本部に含めるなど、簡素で効率的な組織運営を図り、従来より少ない要員で、派遣隊指導者やベンチャースカウトの協力を得て運営していきます。そのため、サブキャンプリーダー(従来のSC野営長)は、各ブロックの中から適任者の人選をお願いしました。

(5) 外国スカウトには全ての部署で適切に対応します

これまでのNJなどでは、空港から会場への送迎をはじめ大会期間中の諸般の対応まで国際部で

一元的に行ってきましたが、16NJ(プレWSJ)および23WSJ開催を念頭に置き、特定の部署だけで対応するのではなく全ての部署で国際的な対応をしていけるように準備を進めています。また外国派遣団の隊指導者とスカウトは、各SCへ配属いたします。

(6) 交代参加に対応します

大会期間が延長となり、厳しい企業環境下での勤務や学業の都合により全日程参加できない場合には、前半と後半に分けての交代参加が一部役割に可能としましたが、あくまで全日程参加が原則です。

(7) 参加スカウト、指導者の参加費負担がこれまでより増えます

15NJは、大会期間の延長、環境対応のための無洗米の配給や排水処理システムの導入、温水シャワーやより衛生的なトイレなどの生活整備、牧草の補償など、従来より多くの経費が必要であると試算しており、日本連盟として国や自治体、企業などに一層の資金協力をお願いするとともに大会経費を節約して、参加費を一人当たり37,000円(スカウト及び指導者)に決めさせていただきました。

4. 会場の利用計画

会場は国立公園【特別地域・普通地域】に指定されており各種行為届出を申請する他、農地の一時転用に係る許可申請、専用水道の確認申請、景観法、都市計画法等の法令・条例を遵守して計画しています。

(1) 生活地域(サブキャンプ)

牧草地A~Jの9か所と、派遣団要員と大会本部要員等の成人生活地域(M:16)に区分して利用します。参加者が生活するサブキャンプのほとんどは採草のための牧草地で、大会後も協力いただいた酪農家に支障が無いよう最小限の仮設工事により設備を構築していきます。参加者も土壌や牧草への配慮、金属片やごみを残さぬようご協力ください。

サブキャンプには、生活に必要な給排水設備、トイレ、シャワーと各派遣隊が共有する広場を設置します。また、大会運営を行うサブキャンプ本部には電力と通信設備を供給します。

(2) アリーナ地域(L:13)

開会式・閉会式、ジャンボリー大集会等の全体行事の実施には、朝霧アリーナを利用します。

(3) プログラム地域

大会のプログラムを朝霧オートキャンプ場、朝霧野外活動センター、(隣前川の用地で大会の各種プログラムを実施します。

(4) 売店地域

朝霧アリーナ第9駐車場(J:11-12)には、一般売店・一般食堂、見学者の休憩テント、シャトルバス・見学者バスのターミナルを予定しています。

第8駐車場(K:11)には、大会記念品等を扱うスカウト用品売店を予定しています。

(5) 大会本部地域

成人生活地域内(M:16)に、大会本部の業務・運営に必要な事務所機能、会議所、倉庫を備えた大会本部地域を設けます。

(6) 駐車場地域

① 場内駐車場

朝霧アリーナ駐車場第1駐車場(M:12)、朝霧野外活動センター(J:15)他に業務用車両、来賓のための駐車場を場内に設けます。

② 場外駐車場(ふもとつばら、本栖ハイランド、白光真実会富士麓園第2駐車場)

来訪者、参加者の留置き車両のための駐車場を場外に設け、会場までのシャトルバスの運行を予定しています。

5. 設備配置計画

(1) 給水設備

富士山の伏流水を水源とする西富士用水本管（O：18）と新設井戸（E：15）により、会場内の各地域に仮設水道管を敷設します。深井戸による汲み上げのため、全体の水量はありますが、1時間あたりの供給量に制限がありますので、節水が必要になります。

また、生活地域以外には既存施設の給水設備もしくは自衛隊の給水トレーラーで対応します。

(2) 電気設備

大会本部地域ならびに各生活地域の本部に蛍灯・コンセント設備を供給します。架空引込が困難な地域は発電機で対応します。

(3) 通信設備

大会本部各部と生活地域の連絡手段としてNTT回線（ADSL 8M）による電話・FAX網を構築します。また、参加者（特に外国人）のために公衆電話を設置します。自衛隊による有線はありません。

(4) 排水処理設備

各生活地域で排出される生活雑排水（主にシャワー排水）を処理するため、凝集ろ過方式による排水処理設備を設けます。排水処理水は必要に応じて消毒処理を行い、勾配を利用した自然流下方式で野溪と用水路に放流します。汚水の削減、汚さない工夫についてご協力ください。

(5) シャワー設備

各生活地域には仮設によるシャワー設備を設置します。牧草地のため掘削ができないことから、シャワーユニットを架台に設置し、排水管により汚水を集約して排水処理設備につなぎます。大会としては初の試みとなる温水化を検討中で、灯油によるボイラー設備を予定しています。

節水できるよう節水型のカランを取り付けたり、一人当たりの利用時間を制限するなど検討しています。

(6) トイレ設備

レンタルのトイレ設備を各所に配置し、汲み取り処理します。

(7) 土木工事

各種生活設備の搬入路を敷鉄板より仮設する他、必要箇所には防護柵等を設置します。

6. 参加日程と参加者負担金 交代増員 5日交代可

(1) 派遣隊・スカウト

参加日程（泊数・食数）	予納金	参加費	参加者負担金計
8月1日（日）～8月9日（月）（8泊9日・23食）	10,000円	27,000円	37,000円

(2) 派遣隊・指導者（隊長・副長・副長補）

	参加日程（泊数・食数）	予納金	参加費	参加者負担金計
全日程参加	8月1日（日）～8月9日（月） （8泊9日・23食）	10,000円	27,000円	37,000円
交代参加 （隊長は除く）	前半：（5泊6日・15食） 8月1日（日）夕食～8月6日（金）昼食	10,000円	20,000円	30,000円
	後半：（5泊6日・14食） 8月4日（水）夕食～8月9日（月）朝食	10,000円	20,000円	30,000円

(3) 派遣団要員（団長・要員）

	参加日程（泊数・食数）	予納金	参加費	参加者負担金計
全日程参加	7月30日（金）～8月9日（月） （10泊11日・30食）	10,000円	27,000円	37,000円

交代参加	前半: (7泊8日・21食) 7月30日(金)夕食～8月6日(金)昼食	10,000円	20,000円	30,000円
	後半: (5泊6日・15食) 8月4日(水)夕食～8月9日(月)昼食	10,000円	20,000円	30,000円

(4) 大会本部要員

	参加日程 (泊数・食数)	予納金	参加費	参加者負担金計
全日程参加 26歳以上	7月30日(金)～8月9日(月) (10泊11日・30食)	10,000円	27,000円	37,000円
全日程参加 26歳以下	7月30日(金)～8月9日(月) (10泊11日・30食)	10,000円	20,000円	30,000円
交代参加 (年齢区分による減額はありません)	前半: (7泊8日・21食) 7月30日(金)夕食～8月6日(金)昼食	10,000円	20,000円	30,000円
	後半: (5泊6日・15食) 8月4日(水)夕食～8月9日(月)昼食	10,000円	20,000円	30,000円

7. 大会周知、参加割当、申し込み実施

- 6月19日 都道府県連盟宛に参加人員割当を通報
増減希望の結果、385こ隊に変更 (第7回実行委員会承認)
- 7月2日 都道府県連盟を通じて基本実施要領・ジャンボリーニュース第1号を配付
- 7月9日 サブキャンプリーダーの推薦を各ブロックに依頼
- 7月17日 15NJ会場事前視察に関して留意事項の送付
- 9月3日 世界スカウト機構、各地域事務局、各外国連盟宛に参加の案内を送付
- 9月25日 参加予定申込・第1次輸送調査実施 (県連盟締切10月末日、日本連盟締切11月末日)
- 10月29日 サブキャンプ副リーダーとマネージャーの選任を依頼
- 12月18日 サブキャンプへの派遣隊の分散希望調査を実施
- H22年2月 参加確定申込・第2次輸送調査予定 (県連盟締切3月末日、日本連盟締切4月末日)

8. サブキャンプリーダーの推薦と副リーダーおよびマネージャーの選任について

- (1) 7月9日付文書で、サブキャンプリーダーの推薦を各ブロックに依頼し、次のとおり各ブロックから推薦いただきました。

ブロック	氏名	所属連盟	県連盟役務
北海道・東北	末永正志	岩手	理事
関東	奈良橋俊宏	群馬	県連盟コミッショナー
	増田秀夫	千葉	県連盟コミッショナー
中部	二上桂介	富山	理事長
	鈴木市男	愛知	理事
近畿	柳澤傳	京都	副連盟長
	丸山雄章	大阪	名誉会議議員
中国・四国	友田宏幸	山口	県連盟コミッショナー
九州・沖縄	内田日出男	大分	県連盟コミッショナー

- (2) また、10月29日付文書で、ブロックから推薦いただいたサブキャンプリーダーをサポートする副リーダーとマネージャーもブロックに選任の依頼をしました。(11月末締切)

9. 派遣隊の配置について

- (1) 原則、10こ隊以上の県連盟派遣団は、複数のサブキャンプに配置します。9こ隊以下の県連盟派遣団であっても希望があれば複数のサブキャンプに配属します。そのため、分散配置の希望調査を12月18日付文書で実施しました。(1月19日締切)
- (2) 希望調査結果に基づき、今後分散配置を示していきます。

10. 派遣団の配置および生活について

- (1) 県連盟派遣団や外国派遣団はサブキャンプ内には道設置せず、スカウトセンター内に派遣団本部を設けます(県連盟派遣団本部ならびに展示場などのスペースを準備します)。
- (2) 大会本部要員・県連盟および外国派遣団要員は、原則として成人生活地域(成人サブキャンプ)でキャンプをします。

11. 参加予定申込

(1) 参加予定申込状況

1月29日現在の予定申込状況は次の通りです。(詳細は資料5の①～⑤参照)

- ・派遣隊：20県連盟以上が欠員 当初割当隊数(385こ隊)から9こ隊減の376こ隊
- ・376こ隊であれば、15,040人(376こ隊×40人)でなければなりません。現状14,813人227人不足しています。(40人の標準隊編成ができていません。)
- ・大会本部要員：半数以上の県連盟で合計449人が欠員
- ・外国連盟：602人

(2) 欠員の対応

①大会本部要員

- ・派遣隊1こ隊に対し5人の割当人数に達するよう引き続き、参加促進をお願いします。
- ・交代参加の原則は、前半は8/6までで後半は8/4からと、8/4～8/6を重複させていましたが、やむを得ぬ場合は8/5も交代可とし参加日数を減らし参加しやすくすることで、大会本部要員の増員を図ります。
- ・特に、医師や看護師等の資格をお持ちの方の参加が少ない状況です。ぜひ、県連盟内の関係者へお声掛けいただき、ご参加いただくことを強く希望しております。

②派遣隊

- ・欠員をなくし40人の標準隊となるよう引き続き、参加者を募ってください。
- ・端数の参加者がいる場合は、ブロック内で調整し、混成隊の編成など検討をお願いします。

(3) 指導者の参加申込区分

予定申込の中には、「派遣団長」と「大会本部要員」を兼ねているケースもあります。派遣隊指導者、派遣団要員(団長含む)、大会本部要員は、それぞれ別の参加区分ですので、同一人物が兼ねることはできません。県内の申込状況をご確認の上、該当する場合は、修正をお願いします。

(4) 大会本部要員の配属部署の決定

予定申込集計後大会本部要員の配属部署決定を通知する予定でしたが、必要人数に大幅に足りないことから県連盟、専門部会からの推薦者、実行委員会委員、専門部会員、資格・技能を第一希望

すことをご了承願います。県連盟に対しましては、事前に委嘱者を通報します。

- (6) 2月上旬に参加確定申込および第2次輸送調査を実施します。
(県連盟締め切り3月末日、日本連盟締め切り4月末日)

1 2. ホームステイの実施

現在、参加予定申込のあった外国連盟に対して、2泊3日程度のホームステイの希望調査を実施しております(2月28日締切)。状況により県連盟にご協力をいただく場合がありますので、よろしくお願います。今後、詳細がわかり次第ご連絡いたします。

1 3. 資料等発行予定

(1) 実行委員会委員・専門部会委員・派遣団向け

- ①基本実施要領 (発行済み)
- ②大会本部要員募集要項 (発行済み)
- ③大会本部の業務と組織 (3月中旬)
- ④各部の業務運営要領 (6月)
- ⑤報告書 (12月)

(2) 参加者向け情報

- ①派遣隊指導者の手引 (仮称) (3月中旬)
- ②参加者ハンドブック (仮称) (6月下旬)
- ③見学者ガイドブック (仮称) (大会当日)

(3) 全般的な大会情報

①大会情報 (プレティン)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 第1号 (H21. 6月配付) | 大会周知時期 (発行済) |
| 第2号 (H22. 2月配付) | 派遣隊編成時期 (参加確定申込) |
| 第3号 (H22. 4月配付) | 事前準備・訓練時期 |

②大会ホームページ

H21. 12. 26 公式ホームページ公開 (<http://www.15nj.or.jp>)

③スカウティング誌

各号1～2頁程度。

(4) その他

- ①大会ソングを作成中です。3月上旬には公開予定です。
- ②ポスターを制作中です。2月を目途に公開する予定です。

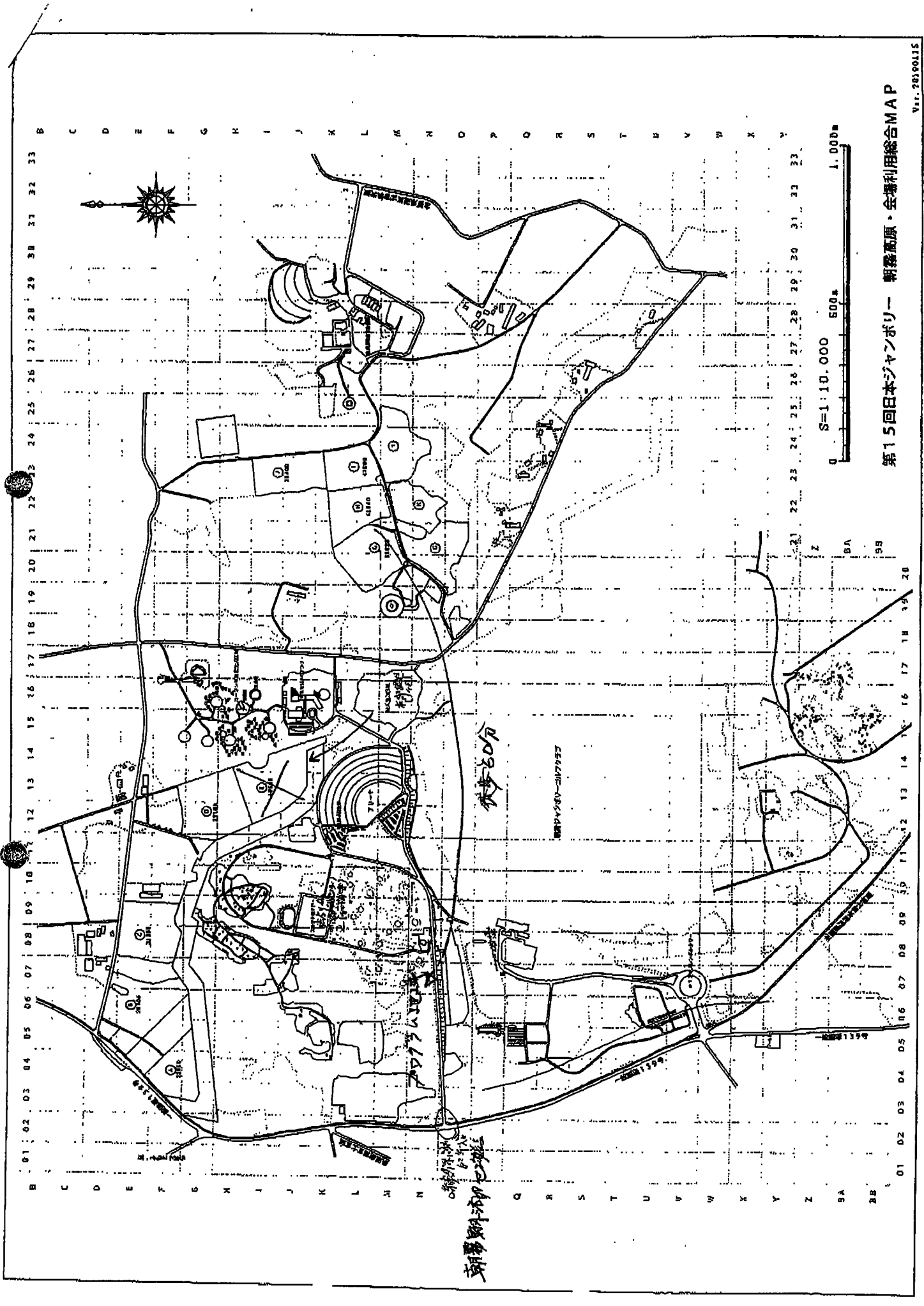
1 4. 現地事務室

(1) 開催地である富士宮市のご厚意により、会場近くの井之頭小学校根原分校 (休校中) を借用して、現地事務室 (TEL & FAX: 0544-52-0600) を開設。

(2) 8月1日に開所式を行い、富士宮市長ほか市関係者、静岡県関係者、地元住民の方々が出席。

1 5. ふるさと納税制度について

富士宮市への寄付金で、使い道をジャンボリーのためと目的を指定したもので、確定申告することで、所得税や住民税が一定額まで控除されます。ぜひご協力をお願いします。



第15回日本ジャンボリー 朝霧高原・会場利用総合MAP

Ver. 28190115

第15回日本ジャンボリー 予定申込者数一覧

No.	県名	派遣隊 隊数	派遣隊 人数	派遣団 要員	大会本部 要員	音楽隊等	県小計 人数	予定申込 人数	備考
1	北海道	6	214	0	2	0	216	216	1に隊減
2	青森	2	66	3	3	0	72	73	
3	岩手	2	63	3	7	0	73	75	1に隊減
4	宮城	4	160	4	12	0	176	181	
5	秋田	2	69	4	3	0	76	78	
6	山形	1	27	4	4	0	35	39	
7	福島	5	193	4	13	0	210	210	
8	茨城	9	357	5	41	0	403	408	
9	栃木	5	200	4	23	0	227	228	
10	群馬	6	239	4	37	0	280	287	
11	埼玉	24	960	12	72	0	1,044	1,061	
12	千葉	20	790	11	102	0	903	932	
13	神奈川	28	1,087	9	71	20	1,187	1,207	
14	山梨	3	120	4	15	0	139	139	
15	東京	42	1,680	15	134	0	1,829	1,829	
16	新潟	3	120	4	9	0	133	136	1に隊調整中
17	富山	5	200	4	25	42	271	291	
18	石川	4	160	4	20	0	184	184	1に隊減
19	福井	3	103	2	12	0	117	124	
20	長野	5	200	4	23	0	227	238	
21	岐阜	8	304	4	36	0	344	357	
22	静岡	20	797	9	124	15	945	971	
23	愛知	38	1,520	13	200	0	1,733	1,743	
24	三重	3	120	4	16	0	140	143	
25	滋賀	5	187	5	15	0	207	216	
26	京都	8	320	0	5	0	325	325	
27	兵庫	22	862	12	100	0	974	981	
28	奈良	8	320	5	41	0	366	369	
29	和歌山	3	120	5	25	0	150	150	
30	大阪	32	1,280	8	81	0	1,369	1,378	
31	鳥取	2	80	4	13	0	97	99	
32	島根	2	61	4	14	0	79	80	
33	岡山	4	160	4	20	0	184	184	
34	広島	5	200	4	25	0	229	229	
35	山口	4	160	4	29	0	193	193	
36	徳島	1	38	4	7	0	49	51	
37	香川	2	93	5	12	0	110	116	高知と混成隊
38	愛媛	6	238	4	30	0	272	277	
39	高知	1	23	3	3	0	29	30	香川と混成隊
40	福岡	10	400	6	50	0	456	456	2に隊減
41	佐賀	1	62	0	7	0	69	69	宮崎と混成
42	長崎	2	77	3	5	0	85	85	
43	熊本	3	127	0	2	0	129	130	1に隊調整中
44	大分	1	40	3	7	0	50	53	1に隊減
45	宮崎	2	61	9	9	0	79	84	佐賀と混成
46	鹿児島	2	75	3	5	0	83	83	
47	沖縄	2	80	1	5	0	86	86	
	小計	376	14,813	230	1,511	77	16,630	16,874	
	外国	0	533	0	69	0	602	602	9か国・地域
	諸団体	0	0	0	0	0	0	0	
	日本連盟	0	0	0	0	0	0	0	
	合計	376	15,346	230	1,580	77	17,232	17,476	
	割当数	385	15,360	278	1,920	0	17,558	18,046	国内のみ
	差異	-9	-548	-49	-410	77	-929	-1,172	国内小計との比較

県連盟網掛付けは未報告のため割当人数を記載

15NJ参加確定申込について

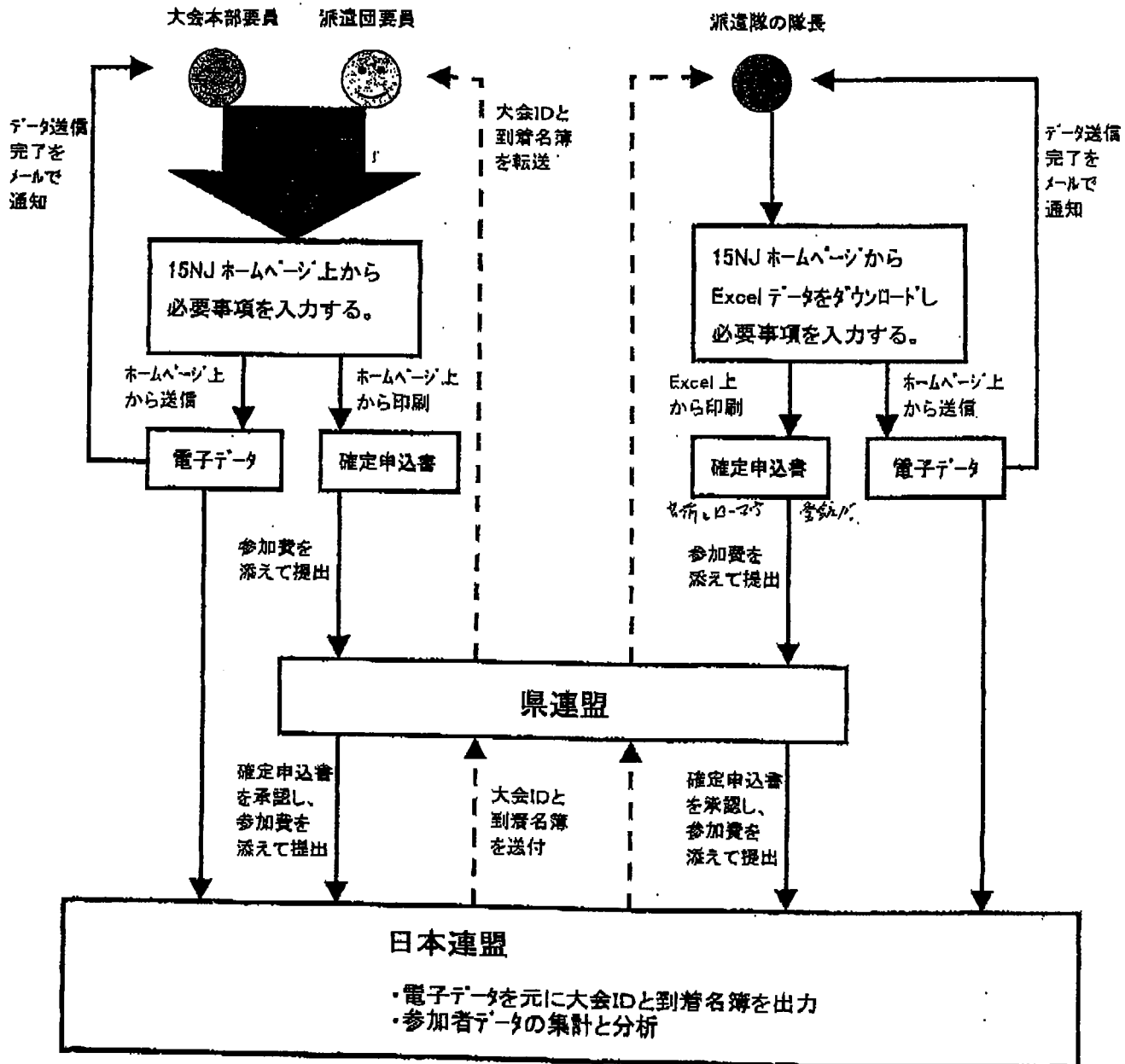
資料：A

15NJ総合サービス専門部会

第15回日本ジャンボリー大会では、16NJ/23WSJを見据えて、従来の申込方法から一歩進めて、電子データを活用した申込方法を取り入れることができるよう準備を進めています。

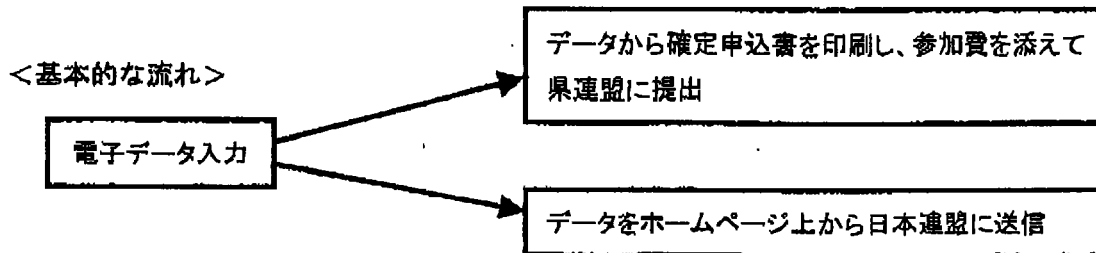
参加申込時の電子データを元に参加者データベースを構築することで、各参加者の情報を効果的に把握し、円滑な大会運営を目指します。そのため、各都道府県連盟および各県連盟派遣団（派遣団要員、派遣隊、大会本部要員：以下、派遣団と呼ぶ）の皆様にも、次の事項をお願いしていきたく存じますので、よろしくご協力頂きますようお願いいたします。

作業イメージ図



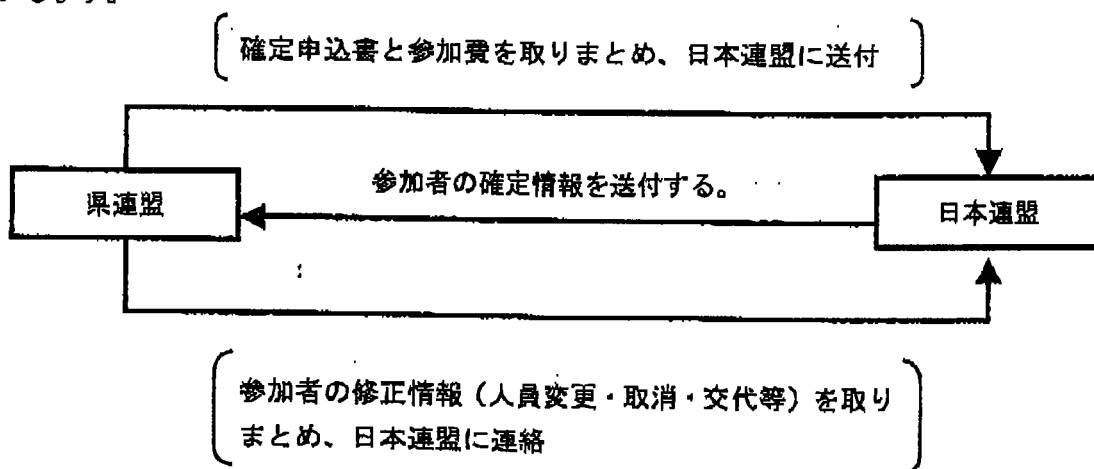
依頼事項 (1)

各県連盟の派遣団/派遣隊に、日本連盟から提供する電子データを使用した参加確定申込をお願いします。



依頼事項 (2)

各県連盟に対し、確定申込書と参加費の取りまとめ、および参加者確定後の修正情報の集約をお願いします。

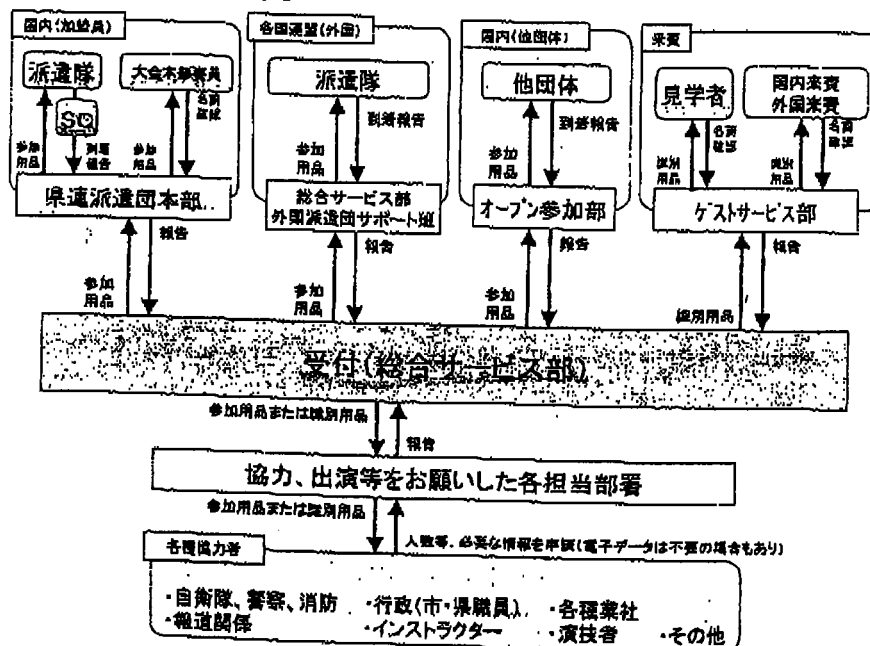


※現在調整中ですが、県連盟から直接データを修正できる仕組みも検討しています。

依頼事項 (3)

15N J大会当日、各派遣隊がSCに入場後、各県連盟派遣団本部が派遣隊の受付を行い、到着報告を総合サービス部受付にお願いします。

受付の
イメージ図



作業スケジュール(予定)

- ・3月上旬 15NJホームページ上で大会本部要員／派遣団要員／派遣隊のデータ入力方法公開
- ・3月下旬 大会本部要員／派遣団要員／派遣隊は、確定申込書に参加費を添えて、県連盟に提出同時に、各申込者はホームページ上から電子データを送信する。
- ・4月下旬 県連盟は、確定申込書に参加費を添えて、日本連盟に提出
日本連盟は電子データと、県連盟からの確定申込書を照合し、参加者を確定する。
- ・5月上旬～ 日本連盟は、県連盟に受付けた参加者の確定情報を送付する。
同時に、県連盟に対し、大会本部要員／派遣団要員／派遣隊の参加者データの変更・取消に関する情報の集約をお願いする。
- ・5月下旬 データ変更締切。大会ID・到着報告書の出力準備開始(以降、電子データ変更は行わず、このデータをもって大会IDと到着報告書を出す)
- ・7月上旬 県連盟を通じて、大会本部要員／派遣団要員／派遣隊にIDと到着報告書を送付
- ・7/30 派遣団要員到着、受付準備
- ・8/1 各派遣隊、大会場に到着。
各派遣隊がSCに入場後、各県連盟派遣団本部にて派遣隊の受付を行い、総合サービス部へ到着報告を行う。

参加者への支給品(予定)

<派遣隊／大会本部要員／派遣団要員 共通>

- ・参加章ワッペン 1枚
- ・参加カード 1枚(大会IDとして識別に使用。ケースとひも付き)
- ・参加者ハンドブック(仮称) 1冊

<大会本部要員のみ>

- ・識別帽子 1個(部署の識別機能を持たせる予定)

以上

資料：A2

当日の受付の流れ（予定）

①派遣団本部

（※大会前に、参加カード（大会ID）は事前に送付されている。）

1. 派遣団本部は、7月30日(金)に派遣団本部要員および大会本部要員を受付できるよう、派遣団本部の設置を行う。
2. 派遣団本部は、スカウトセンター内の総合サービス部に派遣団本部の設置完了を報告する。

②派遣団本部要員

1. 派遣団本部要員は、7月30日(金)正午までに会場に到着し、所属する県連盟派遣団本部に到着報告を行う。
2. 派遣団本部は、スカウトセンター内の総合サービス部に派遣団本部要員の到着状況を報告する。

③大会本部要員

1. 大会本部要員は、7月30日(金)正午までに会場に到着し、所属する県連盟派遣団本部に到着報告を行う。その後、指示に従い大会本部要員サービス部の指定場所に移動する。
2. 派遣団本部は、スカウトセンター内の総合サービス部に大会本部要員の到着状況を報告する。

④派遣隊

（※大会前に、参加カード（大会ID）と到着報告書は事前に各派遣隊に送付されている。）

1. 各派遣隊は誘導に従いSCに入場し、SCサービス部の指示に従い、キャンブイン。
2. 各派遣隊の隊長は、所属する県連盟の派遣団本部に到着報告書を提出し、到着報告を行う。
3. 各県連盟派遣団本部は、派遣隊の到着状況を、スカウトセンター内の総合サービス部に報告する。

15N「テーマ別プログラムサイト」のテーマ設定一覧

サイト No. (Module のNo.)	サイト名 (上段=日本語) (下段=英語)	サイトの 英文略称 (頭文字)	サイトのテーマに関するキーワードと テーマ設定の概要	
			一文字漢字	説明
①	地球開発村 GLOBAL DEVELOPMENT VILLAGE	GDEV	あい 愛	「未来」「理解」「共有」「共生」 愛=「これがあれば共通理解もできるはず」という意味があります。今年の日本ではブームの字で、外国スカウトには難しい字かもしれませんが、一番覚えて欲しい、基本となる漢字であり、テーマに合うと判断されました。
②	文化の交差点 CROSSROAD OF CULTURE	CASC	きずな 絆	「隣人」「融合」「世界」「地球」 絆=これも覚えて欲しい漢字の一つです。今では異なる文化も、歴史上、元を辿れば、出発点は同じであったりするケースが多いと言われます。「ディスカバリー絆。絆を再発見」の意味です。
③	健康と安全 HEALTH AND SAFETY	HES	いのち 命	「安全」「生活」「体力」「発達」 命=人間だけでなく、生き物にとって一番大切なものです。テーマを考えれば、健康と安全の前提条件となるものとの判断です。
④ 橋本 経 雄	科学の都市 CITY OF SCIENCE	COS	わ 環	「未来」「発展」「資源」「環境」 環=環(わ)です。「かん」ではなく訓読みで「わ」としました。「土星の環(わ)」などはこの漢字を使います。また「輪、和」も含まれますが単純な輪ではなく「複数のものが環状で連なった状態」の意味があります。今では科学技術と都市構成を語る上で切り離せない「環境」の環でもあります。
⑤⑥	冒険と自然探求 (1日型) ADVENTURE AND EXPLORING NATURE	AEX	わざ 技	「冒険」「挑戦」「探求」 技=持てる技(スキル)を総動員し、「活用してチャレンジする」の意味もあります。
⑦⑧	地域社会奉仕 (1日型) COMMUNITY SERVICE 指導者同行	CSE	こころ 心	「綱(ネットワーク)」「奉仕」「活動広報」 心=人間が人間として行う全てのものは、この「こころ」が無ければ「無意味ですよ」の意味。地域での交流に際し、活動、行動する前にこのことを考えようという提案です。

注記: サイトの英文呼称(頭文字)について、網掛け部分は過去のWSJで使用された略称。

※ 現在、上記のテーマに沿った「具体的実施プログラム」を企画し、構築中である。

各サブキャンプ (SC) のSC単位でのプログラム参加「モジュール方式」【一例】

Aサブキャンプの場合

時間帯 月日	午 前	午 後	夕～夜
?			
8月3日 (火)	GDV 愛サイト	CRC 絆サイト	SCプロ
8月4日 (水)	HES 命サイト	COS 環サイト	SCプロ
8月5日 (木)	平和祈念式 J大集会 スカウト平和の日		SCプロ
8月6日 (金)	AEX 技サイト (AM-PM)		SCプロ
8月7日 (土)	CSE 心 (場外、AM-PM)		SCプロ
?			

Bサブキャンプの場合

時間帯 月日	午 前	午 後	夕～夜
?			
8月3日 (火)	CRC 絆サイト	GDV 愛サイト	SCプロ
8月4日 (水)	COS 環サイト	HES 命サイト	SCプロ
8月5日 (木)	平和祈念式 J大集会 スカウト平和の日		SCプロ
8月6日 (金)	AEX 技サイト (AM-PM)		SCプロ
8月7日 (土)	CSE 心 (場外、AM-PM)		SCプロ
?			

Cサブキャンプの場合

時間帯 月日	午 前	午 後	夕～夜
?			
8月3日 (火)	HES 命サイト	COS 環サイト	SCプロ
8月4日 (水)	AEX 技サイト (AM-PM)		SCプロ
8月5日 (木)	平和祈念式 J大集会 スカウト平和の日		SCプロ
8月6日 (金)	CSE 心 (場外、AM-PM)		SCプロ
8月7日 (土)	GDV 愛サイト	CRC 絆サイト	SCプロ
?			

～以下のSC分、記載略。

※1：各8つの「サブキャンプを基本とする、プログラム参加モジュール単位」で、上記表のとおり日々参加すべき「テーマ別プログラムサイト」が指定される。指定サイト内は全て、同一SC内の派遣隊のみとなる。他の指定外サイトには入場できない。

※2：基本は、1サブキャンプで「半日単位参加」となる。

※3：場内の「AEX＝技サイト」と、場外プログラム「CSE＝心」は、「午前と午後を通しての1日参加型」となることから、2つのサブキャンプが合同での参加となる。

①-⑥のプログラムは指導者の同行なし

平成22年1月31日



H

15NJ全体行事について(案)

(案)

現在、15NJ全体行事専門部会(専門部会長:赤塚広之)では、ジャンボリー期間中の全体行事について次のとおり準備を進めています。

【大会のテーマ】

「世界に向かってでっかく羽ばたけ！」

今大会は、2015年に日本で開催される世界スカウトジャンボリーに向けた第一歩であり、スカウト運動が大会の参加者によって大きく飛躍・前進する契機としたい。

「壮大な富士を仰ぐとスカウト運動の創始者ベーデン-パウエル卿が遺した言葉が胸に湧いてくる。My mountain says "Look wider, look higher, look further ahead, and a way will be seen"

(我が山が「もっと広く高く、そして遠くを見よ、そうすれば、道は見えてくるだろう」と、私をさとし示している)

朝霧高原で自然環境と調和を図り、全国の青少年と世界の仲間とともに、広い視野、より高い志をもって、富士山のように「でっかく成長しよう」という願いを込めた大会のテーマである。

【15NJ全体行事】開会式・大集会は午後、閉会式は夜間になります。

日程		午前	午後	夜間
前日	8/1(日)	派遣隊入場・設営		
第1日	8/2(月)		開会式	13時30分～14時30分
第2日	8/3(火)	プログラム		
第3日	8/4(水)	プログラム		
第4日	8/5(木)	スカウト平和折念式典	ジャンボリー大集会	13時30分～15時30分
第5日	8/6(金)	プログラム		
第6日	8/7(土)	プログラム		
第7日	8/8(日)		環境整備	閉会式 19時～20時30分
最終日	8/9(月)	撤営・退場		

【場所】

全体行事はすべて「アリーナ」で行われます。朝霧アリーナの芝生広場は約5万㎡の広さに平均18.5%のゆるやかな傾斜があり、全面が草で覆われています。

別紙にアリーナ全体図・ステージ図(平面図・立体図)を示します。

【全体行事演出コンセプト】

今大会の4つのコンセプトを尊重したスカウト主役の全体行事運営を行うことを基本に、2015年開催の第23回世界スカウトジャンボリー開催を視野に入れ、外国語によるアナウンスの充実などにも取り組みます。

「スカウトが主役！」

多くの参加スカウトが出演することで、「スカウトが主役！」を前面に出すことを基本とし、これからのスカウト活動の糧にもなるよう、心に残る演出を行います。

【開会式】8月2日(月) 開場：12:30
開始：13:30
終了：14:30

キーワード「世界」・「仲間」

大会のオープニングを告げる「凜」としたセレモニーを演出します。

開会式では主要旗の入場や参加国連盟旗の掲揚等を通して世界中のスカウト仲間が一堂に会していることを示し、多くの仲間と出会った喜びをかみしめ、全国・世界に広がるスカウト運動を目の当たりにし、7日間にわたる日本ジャンボリーの幕開けを祝します。

マーチングバンド演奏、諸旗の入場・行進・掲揚、開会宣言等を予定しています。

【スカウト平和祈念式典】8月5日(木)

開場：9:30
開始：10:00
終了：10:40

8月5日をスカウト平和の日として、世界の平和を脅かす地球規模の環境問題や地域紛争、人権問題などへの関心を高め、スカウトとしてどのようにそれらの課題にチャレンジするのかを、体験を通して考え、世界のスカウト運動の一員としての自覚を高めることを目的に実施します。

他に富士サンライズメモリー、千羽鶴プロジェクト、食を通して世界平和を考えるプロジェクト、和みの営火プロジェクト、各宗派による平和のつどい等を予定しています。

【大集会】8月5日(木) 開場：12:30

開始：13:30
終了：15:30

キーワード「文化」・「未来」・「創造」

インパクトのある演出とスカウト出演者の演技で大集会を盛大に創り上げます。

開催地である静岡県にゆかりのある演技や各地域の伝統芸能を披露・鑑賞することで文化交流の場とします。

大集会では、集まった若者の力が集結し、新しい未来を創造するような力強いイメージを持ったこれまでにないスケール、そしてエンターテイメント性も加味していきます。特別来賓を迎え、ゲストからのスピーチ、スカウトや地元団体等によるパフォーマンス等を予定しています。

【閉会式】8月8日(日) 開場：18:00

開始：19:00
終了：20:30

キーワード「(調)和」・「夢」・「希望」

7日間の思い出に残るジャンボリーを振り返るとともに、会場から見上げる花火がジャンボリーの終わりを告げ、期間中の思い出と今後の期待・希望が入り交じる雰囲気を感じ深く演出します。

また、2015年開催の第23回世界スカウトジャンボリーへ向けた新しい出発点であることを、日本の伝統をイメージした「和」を基に演出します。

閉会式では新しく出会った仲間との再会を約束し、ジャンボリー会期中の活動で学んだ多くのことを今後のスカウト活動において実践することを誓います。

映像による振り返り、諸旗の入場・行進、閉会宣言、かがり火の点火、15NJから16NJへの引継ぎセレモニー、バンド演奏等を予定しています。